

スクラム組んで未来を共創



佐藤 ひさよし 後援会 News

発行：佐藤 ひさよし後援会・大泉町民懇話会

後援会事務所：坂田1-1-1 (パナソニック構内) TEL：0276-61-9926

昨年は新型コロナウイルスの感染が拡大し、収束が見えてこない中、全国で緊急事態宣言の発出、外出自粛や飲食店等への時短要請もあり、皆様におかれましては、それぞれの立場において日常生活に大きな支障があったかと思えます。しかし、そのような中においても新しい年をお迎えできたことをお慶び申し上げます。

新たな年を迎えても新型コロナウイルスの感染は収束することはなく、大泉町においては感染者が増加し、町独自の緊急事態宣言が発出されました。今までに経験したことのない感染症の拡大となっていますので、皆様におかれましては、ご自身ができる最善の感染対策をお願いいたします。

また、新型コロナウイルスの影響によって生じている、皆様が生活していく中でのお困りごとやご意見、ご要望がございましたらお気軽にご連絡をください。

皆様の声を聴かせていただくため、少しずつお宅を訪問させていただいておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から自粛をさせていただいております。(緊急事態宣言の解除以降に再開を予定しています。)

12月定例会ではこんなことが決まりました

Pick up②

■議案第70号

「令和2年度大泉町一般会計補正予算(第5号)について」

この議案は歳入歳出それぞれに1億1229万円の追加です。歳入では国からのICT教育の整備に伴う小中学校の情報機器整備費やふるさと納税関係寄付金などの追加です。

歳出では子どものインフルエンザ予防接種費用助成金、家庭でのオンライン学習環境整備に伴う通信機器購入の費用です。

通信機器が整ったことで、通信環境の無い家庭の児童生徒も含め、オンライン授業に対応する事が出来るようになります。

12月 定例会 会期：令和2年12月8日～10日

条例関係・・・10件

補正予算・・・4件

財産購入・・・6件

その他・・・2件

合計 32件

(R2年11月26日 第4回臨時会含む)

(R3年1月13日 第1回臨時会含む)

この中から3つを Pick up

Pick up③

■議案第1号

「財産(情報端末)の購入について」

この議案はGIGAスクール構想の実現に向けた町立小中学校へ配備する情報端末(タブレット)の購入についての議案です。

GIGAスクール構想とは、児童生徒一人一台のパソコン配布と高速ネットワーク環境整備を行う事業で来年度から一人一台のタブレットが配布されます。

昨年は新型コロナウイルスの影響で休校措置がとられました。そのような事態になったとしても家庭で授業を受ける事が出来るようになります。

Pick up①

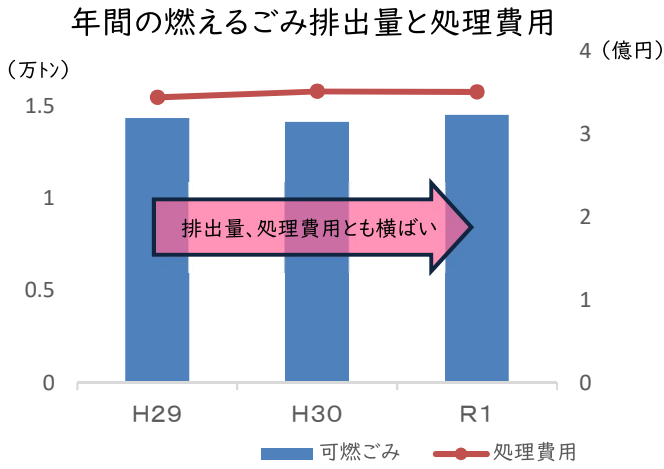
■議案第6号

「大泉町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について」

この議案は議会議員の期末手当(ボーナス)の支給額を減額するためのものです。

新型コロナウイルスの影響により多くの方の収入が減っている状況にあります。公務員においても民間との均衡を図るため人事院などの勧告を受けて、減額の措置がとられました。議会議員についてもそのような状況を考慮し、減額の発議をいたしました。私はもちろん賛成し、この議案は可決しました。

私たちの小さな変化が大きな効果となる



※この数字には管理運営費や建設費は含まれていません。単純に処理に掛かる費用のみです。

今年4月より大泉町・太田市・邑楽町・千代田町で運営される「太田市外3町クリーンプラザ」の稼働がスタートします。ごみの処理には多額の費用が掛かっており、私たちが排出したごみなので処理に掛かる費用が発生するのは仕方のないことです。私たちが少し工夫をしたり努力をすることでごみ処理に掛かる費用が削減でき、大きな効果となって私たちに戻ってきます。今回はごみ処理に掛かる費用と今後の動きについて考えてみます。

左図は大泉町の燃えるごみの排出量と処理費用のグラフです。

今のままではごみ袋有料化の方向に向かってしまいます。新たな負担増を抑えるためにも各自が出来る事をやってみましょう！



直近3年間、横ばいで大きな変化はありません。現時点で大泉町は有料の指定ごみ袋ではありませんが、今までは有料の指定ごみ袋にし、ごみ処理費用に充てなくてはならない状況にあると思います。そうならないためにもごみの分別と減量をしなくてはなりません。生ごみや水分を含むものは乾燥させてから出すことで重量が軽くなり効果的です。皆様がご自身で出来る範囲で始めてみませんか？

その小さな変化が行政サービスの向上や地球環境に大きな効果となって表れてきます。

ごみは重量でカウントされるため軽く出すのがポイント

詳しいごみの分別方法や新ごみ焼却施設などについては 町HPや町広報でご確認ください。



大泉町HP



広報誌

「ラグビーフットボールを通じた地域振興に関する協定」



左からパナソニック代表者・太田市長・大泉町 村山町長・熊谷市長

大泉町・太田市・熊谷市・パナソニック株式会社の4者間で地域振興についての協定を締結

この4者協定は新たにパナソニックワイルドナイツのホームタウンとなる熊谷市だけでなく、旧ホームタウンの太田市、そして発祥の地である大泉町が連携しラグビーを通じて地域振興に取り組むためのものです。

協定の内容として、各自治体はワイルドナイツの応援活動を行い、スポーツの普及や健康増進、地域振興に努めます。また、ワイルドナイツのグッズなどをふるさと納税の返礼品として活用することでそれぞれの自治体にとってもプラスになります。

新型コロナウイルスの影響でスポーツ分野においても大変な苦勞をしています。スポーツを通じて地域の活性化につながることを期待しています。

また、ワイルドナイツグッズがふるさと納税の返礼品になることで寄付金の増加が見込めますが、一方で他の自治体に出て行っているお金もあります。このような制度があるので有効に利用するべきですが、大泉町のふるさと納税関係の収支は年間約800万円のマイナスです。税収増に繋げるための施策を研究し提言していきます。